



西桂町



VOL.
117

議会だより



6月24日 児童館子どもまつり

- 山崎町長 6月定例会行政報告 2 ~ 3
- 補正予算委員会審査内容 4 ~ 5
- 所管事務調査・条例改正・補正予算・人事案件 4 ~ 5
- 一般質問 (武藤(隆)議員)..... 8
- 一般質問 (瀧口議員) 9
- コミュニケーション広場(上町：二葉会) 10



地域防災の推進

5月5日の石川県能登地方における最大震度6強の地震にはじまり、11日の千葉県南部を震源とする最大震度5強の地震、更には22日の伊豆諸島を震源とした地震や、北海道日高地方、トカラ列島近海地震など、全国各地でマグニチュード5以上の地震が極めて短期間の間に広範囲において観測されており、当町では、近年、幸いにも大きな災害は発生しておりませんが、南海トラフ地震や首都直下地震、富士山噴火など多くの災害が高い確率で発生するといわれており、まさに、いつ起きてもおかしくない状況下にあるものと考えられます。

災害から地域住民の皆さまの命や財産を守るには、行政としての公助として、さまざまな取り組みをさせていただいておりますが、地震や大雨による洪水・土砂災害は広域的で同時多発的に発生いたします。このことを踏まえ、町民一人一人が、または家族単位、あるいは地域社会、コミュニティとして自分や地域を自分たちで守るといふ自助・共助の活動が重要となってきます。

このような中、先月18日に新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から会議の開催を見合わせておりました「西桂町防災連携会議」を各種協力団体のご出席のもと約4年振りに開催いたしました。



4年ぶりに開催された「西桂町防災連携会議」

行政と住民の皆さまが一緒になって、平常時の予防対策や災害時の減災対策の重要性を共通認識としていただき、「自助」「共助」「公助」更には「近助」が有機的に繋がることにより、町民の安全確保、被害の軽減を図ることができるところであり、非常に有意義だったと考えております。

商工業の振興

NESIC陸上養殖株式会社「閉鎖循環式陸上養殖場」は昨年

12月に工場竣工後、内部機器の調整を経て、現在第1回目の出荷に向けて魚を育成しているとのことです。1回目の出荷は9月末頃を予定しており、約30t出荷予定と報告をいただいております。

観光の振興

三ツ峠グリーンセンター管理運営事業についてですが、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げが行われ徐々に日常が戻りつつある状況ではあります。令和4年度収支状況におきましても、大変厳しい旨の報告を指定管理者より受けました。

町でも、令和4年度中において、

新型コロナウイルス感染症につきましては、政府は本年5月8日より、感染症法上の位置づけを、2類相当から、季節性インフルエンザと同等の5類相当といたしました。

制限が緩和されたことにより、およそ3年間続いた新型コロナウイルス感染症との戦いもようやく終盤を迎え、今後はこの3年間で得た経験を生かして、ウィズコロナの中、様々な社会活動が活発に行われることとなります。

町民の皆様にはこの3年間、様々な場面で感染症に対する取り組みを実践していただいたことに、心より感謝申し上げますとともに、位置づけの変更により、新型コロナウイルスがなくなるわけではありませんので、今後も基本的感染症対策につきましてはご留意をお願いいたします。



バーベキュー場の壁の設置とコンロの取り替えを行った三ツ峠グリーンセンター

コロナ禍並びにコロナ後に向けた経営改善策等について指定管理者と運営会議を定期的に行い、意見交換を行って参りましたが、感染者数が落ち着かない状況で国民が旅行を控えた状況は変わらず、令和3年度より回復の兆しはあるものの、赤字状況を打開するまでには至りませんでした。

しかしながら、令和4年度には、本館空調設備の入替工事の実施やバーベキュー場の壁の設置及びコンロの取替を行い、魅力を高めるための施設改修を行いました。かつての賑わいを取り戻すべく官民

がそれぞれの役割を担いながら取り組んで参りますのでご理解をお願いいたします。

また、一方で本年度末に現在の指定管理者との契約期日が終了いたします。そのため、本年度新たに指定管理者の公募を行い選定することとなっております。現在諮問により指定管理者選定委員会が中心となり公募を始めるところであります。

保健・医療の充実

新型コロナウイルスワクチン接種の令和4年秋開始接種は、本年5月7日をもって終了となりました。この期間に1856人の接種がありました。

令和5年度は5月から8月までの春開始接種と、9月から12月までの秋開始接種の実施を予定しております。春開始接種につきましては、65歳以上の方、12歳以上64歳未満で基礎疾患を有する方などが対象となり、町では5月下旬より順次接種券の送付を行っております。今回の接種は、これまで同様の富士吉田市ワクチン接種センターでの集団接種と、市町村にある41医療機関での個別接種により

実施いたします。今後は季節性インフルエンザの予防接種と同様の個別接種へと切り替わってまいりますので、町民の皆様のご理解をお願い申し上げます。

子育て支援の推進

新しく子育て支援課を創設し、子育て支援係・保育所・子育て支援室において、より充実した子育て支援を行うことをめざし業務を進めてまいります。

子育て支援係におきましては、国・県の施策であります子育て世帯生活支援特別給付金の支給事業を本定例町議会の補正予算に計上したところであります。

対象者は、ひとり親世帯以外の、令和4年度西桂町低所得者子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を受給された方、そのほか、申請により対象児童（18歳になる年度末までの子（障がいのある児童については20歳未満）を扶養する父母等で、令和5年1月以降の家計が急変し、住民税非課税相当の収入となった方です。児童1人あたり一律10万円（国給付分5万円、県上乘せ分5万円）であり、約50名を予定しています。

保育所におきましては、故障した保育所給湯設備、電子ピアノ、雨漏りのある職員通用口軒天を改善し施設環境を整えるためとし、緊急的な対応が必要なことから補正予算に計上したところであります。

また、子育て支援室につきましては、引き続き、安心して子どもを産み育てられるよう町をあげて「子育て」のサポートを進めてまいります。

行財政運営の充実

令和5年度における新型コロナウイルスウィルス感染症対応地方創生交付金メニューのうち「電力・ガス・食糧品等価格高騰重点支援地方交付金」が内示されたことにより、町ではエネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者への支援としまして、町民全員を対象に1人当たり5000円の商品券の交付を計画し、補正予算計上をいたしました。

また、低所得世帯への支援枠を活用し、令和5年度住民税均等割非課税世帯約300世帯に対しまして、1世帯あたり3万円の現金での給付を行ってまいります。

小中学校の卒業証書カバーを 町内織物で製作することに

令和5年6月定例会

令和5年度西桂町議会6月定例会は、6月8日から15日までの8日間の会期で開かれました。

町長より承認案3件をはじめ、議決議案1件、補正予算案1件など5件が提案され、全ての議案が原案のとおり承認・可決されました。

主な審議は内容を要約してお伝えします。

令和4年度西桂町一般 会計補正予算(第11号)

(主な委員質疑・歳入)

武藤(隆)委員 ふるさと応援寄付金の令和4年度収入額は、**佐藤総務課長** 令和4年度の実績は5569万9千円です。令和3年度収入額と比較して1992万7千円増額いたしました。

(主な委員質疑・歳出)

小林委員 民生費、衛生費とも約

1700万円減額していますが、その減額理由と内訳の説明を。

小川福祉保健課長 民生費は主に障がい者福祉費にかかる経費で、自立支援給付費や重度医療費に関する助成経費を650万円減額しました。理由は、例年冬季に医療費が伸びるため、支払いができるよう予備的な経費を見込んでいることが要因です。

衛生費は、主に健康診査等にかかる経費で、令和3年度は3月に実施した健診を受けた方が多かったのですが、令和4年度に実施した健診ではあまり受診者が増えなかったことが原因です。

あとは新型コロナ感染症にかかるとワクチン接種関係経費です。この経費については見込みが立たないため、対象者分を予算計上し、実績が確定しましたので減額しています。

令和5年度西桂町一般 会計補正予算(第1号)

(主な委員質疑)

武藤(隆)委員 町民生活応援券配付事業、住民税非課税世帯支援給

付金、子育て世帯生活支援特別給付金事業の3事業を予算計上していますが、これらの事業の実施時期は。

佐藤総務課長 西桂町民生活応援券配布事業は、町民1人5千円分の商品券を、9月上旬から発送する予定です。

小川福祉保健課長 住民税非課税世帯支援給付金については、福祉保健課で所管しており、7月中旬に対象者に通知を発送します。申請不要の方については、8月上旬に支給を予定しています。

権守子育て支援課長 低所得の子育て世帯に対する給付金は、令和4年度からの継続支給対象児童は36名で、22名の保護者の方に支給を。新規の対象者については、これから申請を行っていただきますので、手続きが終了次第、支給を開始いたします。

藤江委員 西桂町民生活応援券は1人当たり5千円分ですが、物価高の現状から比べると、一人当たりの金額が少ないなと思いました。

この応援券の金額設定について説明を。

佐藤総務課長 1人当たり5千円の金額については、臨時交付金の

内示額等に合わせて算出したしました。財政厳しい状況の中で町費を上乗せして支給することは難しいため、ご理解いただきたいと思っています。

藤江委員 小・中学校費の中に、郡内織物の卒業証書カバーの購入とあります。この発想は非常に素晴らしいと思います。このほかに、郡内織物を教育に関することで使用するようなお考えは。

川村教育次長 卒業する子どもたちに記念になるものを残して、代々引き継いでいきたいということとで計画しました。

今泉教育長 地域を知るという教育については、かねてから小学校においても総合学習の一環として行っています。織物業に限らず、地域を知るというテーマを、学校の自主的なカリキュラムの中に組み入れているケースが圧倒的に多い状況です。

私自身も地域を知る意味で、織物業への関わりのみならず、地域の史跡、文化等も再確認しておきたいと思っています。

小林委員 国からの新型コロナ感染症対策臨時交付金事業は、去年から何回もしているように、現金

給付、もしくはクーポン券という決まりなのか。

山崎町長 この臨時交付金事業は、事業を重ねる中で、給付金額や給付方法などが変わってきています。先ほど藤江委員からあった、全然物価高が追いついていないよ。これも当然そうだと思います。しかし、国の施策としてやっている事業を地方自治体が、その限られた使い方の中で地方自治体に一番向いているものを選んでやっているということですよ。

工事請負契約の締結 中野団地1号棟水回り等 改修工事

小林委員 町営住宅中野団地は令和5年度で全室改修が終わります。工事内容は前年度とほぼ同じだと思いますが、1戸当たりの工事単価がどのように推移してきているか説明を。

前田建設産業課長 令和3年度は2号棟を9戸、令和4年度も2号棟を9戸改修しました。そして、令和5年度は1号棟を12戸改修します。1戸当たりの単価については、令和3年度が48.9万円、令和4年度が53.5万円、令和5年

度の入札額で計算しますと1戸当たり56.6万円となります。令和3年度と令和4年度を比較すると9.0%上がっています。令和5年度の対前年度比は5.8%上がっています。

小林委員 入札は予定価格を公表する方式を当町では取っています。が、予定価格を公表しなかったら、もう少し契約単価は下がったのではないかと考えます。公表方式を採用している理由は。

また予定価格を公表しない方式で入札した場合、当町の事業にどのような支障をきたすか、併せて説明を。

前田建設産業課長 予定価格を公表している1番の利点は、入札が1回で終わりスケジュールがずれないという利点があります。また、官製談合を防止するという利点もあります。

小林委員 今回、契約に関して単価が、56.6万まで跳ね上がって、令和3年から比べると、1戸当たりにかかる費用が大きくなっています。中野団地は国からの補助金をいただいている事業であります。が、今後、補助金が付かない事業に関して、やはり入札方式を檢

討していただきたい。

前田建設産業課長 物価上昇の影響を受け、人件費、資材費全部高騰しておりますので、その中の積算で設計価格もやはり同時に上がっております。

瀧口委員 設計価格も全部付随して上がっているとの説明ですが、中野団地の設計をする際、相見積もりを取っているのか。

前田建設産業課長 今回の設計に関しての単価は、基本的には公表単価を使っています。公表単価にないものに関しては見積りを数社から取って、その中から安いものを使って積算しています。



水回り等改修工事を行う中野団地1号棟地

三つ峠駅前におけるPPPによる 持続可能な「小さな拠点」形成事 業調査結果について

この事務調査は、令和4年度に国土交通省から100%補助を受けて実施した「官民連携事業の可能性調査」に
関し、3月定例議会時「4月上旬には
結果を取り纏め報告する」という発言
に基づき、6月定例議会への報告を求
めたものである。

(山崎町長概要説明)

山崎町長 この調査結果が計画ではな
いということをご理解下さい。

この国土交通省のPFI事業、独立
採算方式の事業というのは、全国的に
は規模が大きい事業が多く、西桂町ほ
どの自治体案件は、過去一度もないで
す。今回の調査対象地域は駅と駅舎も
含め、中銀横の道から、八龍さん前
の道に囲まれたエリアを対象地域とし
て調査を申請しました。

調査ポイントは、①人口減少、②財
政逼迫の顕著な小規模自治体での公共
施設の集約化、③収益施設の整備、④
収益還元等による小さな拠点形成の検
討、⑤地域産業とのシナジー効果、⑥
収益施設の導入による波及効果と社会
的インパクトの算出です。

私は令和7年度着工が最短ですと話
した経緯があります。コンサルタン

業者の調査結果は8年を目標にしたら
どうかという内容になっております。
詳細な報告書は国土交通省のホーム
ページで7月20日過ぎ頃公開されます。
補助率は2分の1で補助額の上限は市
区町村では5億円です。補助要件に該
当しない施設は除かれますので負担が
増えることになりません。



「官民連携事業の可能性調査」における対象エリア

(主な委員質疑)

小林委員 最大補助額5億円もらうた

めには10億円を投資しなければいけ
ないということです。新庁舎を建設して
いる現段階で更に10億円を、とは言
えません。

山崎町長 事業規模を小さくしたの
で駅前開発事業としては全く魅力がな
いので、私は宿泊施設をどうしても誘
致したい。しかし、町民の方の多くの
反対があるようでしたら、それはでき
ませんし、事業規模自体はこれから決
めることです。現在は国のPFI事業
に認定された段階です。この案によっ
て事業申請すれば採択につながるとい
う段階だと理解していただきたい。

町民には広報から発信します。事業
の取り組み内容は、すべて町の長期総
合計画の中に位置づけて、9月広報ぐ
らいに体系づけて発表していきます。

瀧口委員 自分の身の丈の感覚で事業
をやるといふ感覚は持っておられない
ですか。

山崎町長 財源はどうするのだという
話と直結すると思うのです。12市町村
のごみ広域化計画が進捗しておりゴミ
焼却施設が設置される自治体には、地
域経済活性化補助金という名目で額は
未確定ですが入る予定でいます。

瀧口委員 国も借金、西桂町も借金と
いう状況の中、西桂町も人口が減少し
ていくと、今まで以上には補助金を出
してくれないと思います。建物を造る
と、必ずその維持メンテナンス費用を

考慮する必要があります。

山崎町長 基本的に、公共施設は整備
計画が長期にあります。基金の積み
立てが十分だとは言えません。当然、
庁舎が筆頭、次は小学校、中学校とな
ります。長期的に長寿命化施策をやっ
ていきます。従来は耐用年数50年、今は
長寿命化して80年から100年を目指
す長期計画がありますので、それに見
合った積立をしていくというのは、肌
感覚としては絶対重要だと思っていま
す。将来のことも見据える企業文化を
つくっていきたいと思っています。

小林委員 コンサルティング業者は
「小さな拠点としての西桂町」に魅力
があるのかなのか、どちらの結論を
出してきたのですか。

山崎町長 そういう意味では中途半端
です。地元の人には可能性が厳しいとい
う見方が多いです。東京とか他のエリ
アの方の結果は概ね良好です。これを
実行するか否かは町が決めることなの
で、今は計画を作ったら国交省のほう
で予算はもう確定につきますよとい
うところの初期段階はクリアしています。
実行することが決まっていけないのに、
予算の話でも全く意味がないので
「どういう規模で進めるのか」、これは
議員さんからのご指摘もあつたよう
に、コンセンサスを取って行っていき
たいと思っています。

小学3年生が議場見学に 来てくれました



6月定例会・条例改正

条 例 名	審議結果	主 な 内 容
西桂町税条例等の一部改正 (専決処分)	可決	地方税法等の改正に伴い、森林環境税の導入、軽自動車の種別割におけるグリーン化特例の延長、その他関係法令等の改正による条例の改正
西桂町国民健康保険税条例の一部改正 (専決処分)	可決	地方税法等の改正に伴い、雇用保険受給資格通知開始に伴う規定の整備のための条例の改正

令和5年度各会計補正予算

会 計 名	審議結果	補 正 額	補正後の予算総額
令和4年度一般会計補正予算 (第11号)(専決処分)	可決	△9981万円	32億7912万円
基金運用経費(財政調整基金積立)他の増額、新庁舎建設経費他の減額			
令和5年度一般会計補正予算 (第1号)	可決	5684万円	37億0380万円

西桂町民生活応援券配布事業、住民税非課税世帯支援給付金経費、子育て世帯生活支援特別給付金給付経費、新型コロナウイルス感染症対策経費他の増額

仲古 渡重 井勝 梶川 牛
野屋 竹邊 田上 俣原 村田
高将 義 玄秀 美健 明和
之直 信 淳 一樹 男造 弘夫
氏氏 氏氏 氏氏 氏氏 氏氏

(可決)
西桂町農業委員会委員
の任命の同意を求める



新田 詔一氏

固定資産評価審査委員
会委員の選任の同意を
求める(可決)



6月定例会
人事案件



武藤隆義 議員

問

要支援1・2認定者のための
通所リハビリテーション（デ
イケア）施設の新設を！

脳卒中や骨折などの治療終了後、要支援1・2の認定を受けた方のリハビリテーション施設の選択は、ケアマネージャー及び地域包括支援センターと相談し、介護予防サービス計画を作成したのち、施設の選択をすることとなります。

介護予防サービスには、介護予防訪問介護と介護予防通所介護があります。要支援1・2の方が、介護予防通所介護を利用したい場合、当町には施設がなく隣接市に頼らざるを得ません。隣接市の施設を利用する場合、様々な制限があり、満員の場合は断られたり、希望する施設に入所できなかつたり、入所できても隣接市の市民が入所すると、退所の要請がある状況です。

それぞれの市町村にある地域包括支援センターを中心に考えているわけですが、当然かもしれません。退院後すぐに機能の維持回復訓練や日常生活動作訓練が実施できる町独自のリハビリテーション施設が必要だと考えます。

リハビリテーション施設の施設には、「医師」「理学療法士」「作業療法士」「言語聴覚士」およびリハビリテーションを行う専用の部屋など、問題は多々ありますが、所要時間が1〜2時間では、適切な研修を受けた看護師、准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ師が認められているようです。

町民が待機することなく、介護サービスが受けられますようご検討をお願いします。

長弁 第9期介護保険事業計画
町答 懇話会のなかで検討

介護予防通所リハビリテーションは、利用者が要介護状態になることを防ぎ、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の心身の状態に応じて「運動器の機能向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」に関するサービスを組み合わせ受けることができる施設で、中でも「運動器の機能向上」に対するニーズが高いものと認識しております。

一方で、介護予防通所リハビリテーション施設は、議員ご指摘のとおり当町には開設されておらず、近隣の自治体に開設された施設を利用することでサービス提供に結び付けております。

介護予防通所リハビリテーション施設の設置には、医師や看護師等、専門的な職員を配置する必要がありますことから、直ちに整備

できるものではありませんので、リハビリテーション専門職を派遣し、介護予防に関する技術的支援を行う事業をはじめております。

現在令和6年度から令和8年度までの3年間を計画年度といたします第9期介護保険事業計画の策定に入っております。通所リハビリテーション施設の設置につきましては、これから行うニーズ調査を踏まえて、介護保険事業計画懇話会の委員の皆様にご協力をいただきながら検討してまいります。

併せまして、利用される方の希望に沿ったサービスの提供を受けられるよう、町内介護事業者にも理学療法士などの配置等、運動器機能の向上に資するサービス提供体制の整備を要請してまいりますので、今後の取り組みにご理解、ご協力をお願い申し上げます。

町民が待機することなく、介護サービスが受けられますようご検討をお願いします。



瀧口幸男 議員

問

地方創生人口減少対策は

地方創生の背景は、少子高齢化と急速に進む地域の人口減少です。西桂町にとっても大きな課題だと考えます。

当町の人口は本年4月1日現在4027人、2012年（平成24年）12月1日は4709人であり、10年間で約700人激減しています。

20才から30才まで将来を担う若者の人口は男性178人、年代別平均16人、女性180人、年代別平均16人という状況です。また中学校の部活動については「生徒数が

少なく、野球やサッカーのチームが編成できない」と先生から伺っています。

このまま対策を講じなければ2040年の当町の将来人口は3005人になると推計もされています。

さらに、6月9日山梨県知事より人口減少による非常事態として「人口減少危機突破宣言」が発出されました。

この危機的状況下、人口減少に歯止めをかける打開策についてお聞きします。

長弁 町の魅力を高め、土地の流動化、空き家対策に取り組み

西桂町の人口減少対策について、私の考える重点施策は2点です。一つ目は町の魅力を高めること、二つ目は土地の流動化、空き家対策を進めることです。

魅力を高める施策として三つ峠里山整備事業、三つ峠駅舎リノベーション事業、三つ峠駅前再開発事業、桂川流域拠点整備事業を位置付けています。空き家対策については昨年各区の役員

問

町民の生命・財産を守る安心・安全なまちづくりを

町民の生命財産を守るため、次により提案させていただきます。

地震被害の防止、軽減を図るため、家具の転倒防止固定器具の設置について周知するとともに、転倒防止器具の購入費用の補助。

災害時に消火栓を活用した飲料水の供給体制の整備。

自然災害による被害の防止、軽減を図るため、土砂災害の恐れがある場所の確

認、過去に台風等豪雨により大きな石や砂利、流木が堆積している河川の確認と撤去。

交通安全対策では、生活道路や通学路の幅員が狭い道路、水路に接する道路の安全確認。交差点の標識やカーブミラーの再確認と新設整備。

以上、町民の皆様が安心して暮らせますよう積極的に対応をお願いします。

長弁 今後も安心安全な町づくり

家具転倒防止器具購入費については、高齢者・障がい者への世帯に対して、器具の取付け費用を5千円限度に負担しております。

災害時に消火栓を活用した飲料水の供給体制の整備については、消火栓に蛇口をつける器具の購入を検討してまいります。

その他飲料水については、町内5業者と災害時の飲料水等供給に関する協定を令和2年に締結しております。

自然災害への対応については、毎年出水期前に県と合同で危険箇所の見回りを行います。河川の堆積物は逐次撤去依頼を行っています。

交通安全対策は、大月交通安全協会西桂支部において、道路や危険箇所の点検及び清掃等を行っています。各地区については区要望として要請いただき対応をしています。

今後も安心安全な町づくりに努めてまいります。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その92



いきいき交流会 上町二葉会の皆さん

訪問先

いきいき交流会
上町二葉会

代表者：滝口 里子

取材日：6月21日
菅谷議員、梅原議員

問 会員数を教えてください。

滝口さん 24名(対象者15名、ボランティア9名)です。

問 活動日及び活動時間は。

滝口さん 月1回、第3水曜日、午前10時から午後1時まで活動をしています。

問 活動場所は。

滝口さん 上町新公民館で行っています。

問 今後の目標は。

滝口さん 今までと同じように、対象者の皆さんが

毎月楽しみに集える場所になるよう続けていけたらと思います。

問 町民の皆さんにお知らせしたいことは。

滝口さん 対象者の方、ボランティアの方を募集しております。皆さんで楽しく過ごしましょう。

問 活動内容のPRをお願いします。

滝口さん 対象者の方、ボランティアの方の誕生月にはみんなで“ハッピーバースデートゥーユー”を歌って、誕生日を祝っています。

また、毎月楽しい企画を考えて活動しています。



コミュニケーション広場では、西桂町で活動されている団体を紹介しています。掲載を希望される団体は是非ご連絡ください。(議会事務局：☎ 25-2121)